

大雨と暴風

～「警報級の可能性」が発表された際には、今後の気象情報に留意を～

9～10月は台風や発達した低気圧が北海道付近を通過することが多くなります。

宗谷地方でも大雨や暴風により低い土地の浸水や土砂災害など日常生活に大きな影響を及ぼすことがあります。

気象台では平成29年5月から「警報級の可能性」を発表しています。大雨・大雪・暴風（暴風雪）・波浪の現象について、5日先まで警報級が予想されているときに、その可能性が高い場合は[高]、その可能性は高くないが一定程度認められる場合は[中]として2段階で発表します。また、「警報級の可能性」と併せて、翌日までに予想される最大雨量などの量的な予報も発表し、気象庁ホームページやテレビのデータ放送などでお知らせしています。「警報級の可能性」が[高]と発表されたときは、警報に切り替える可能性が高い「注意報」や予告的な「府県気象情報」が発表されます。これら情報を利用して、危険度が高まる詳しい時間帯などを確認してください。また、「警報級の可能性」が[中]と発表されたときは、深夜などの警報発表の場合も想定し、心構えを高めておき、その後に発表される警報や気象情報などに留意してください。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

秋の全道火災予防運動

1. 実施期間

平成30年10月15日（月）～平成30年10月31日（水）の17日間

2. 統一標語

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火気器具の取り扱いや火の消し忘れがないよう十分注意し、火の用心を心掛けてください。

また、逃げ遅れによる死傷者事故を防ぐためにも、住宅用火災警報器の早期設置や設置済みの住宅につきましては、住宅用火災警報器の作動確認をよろしくお願いします。

地域おこし協力隊通信

vol.34

ラジオの夏休み子ども科学電話相談で、「どうして時計の文字盤の数字は右回りにならんでいるの？」と質問がありました。（なぜだろう??）

先生の回答：「○○ちゃん、晴れた日に外に出てお日さまの方を向いて立つと、後ろ側に影ができるよね。同じ場所で朝から夕方までできた影の位置に印をつけていくと...（略）」と、影の動きから日時計が考えられて時計として使われていたことを紹介して、日時計の目盛りが右回りについていたので、機械式の時計の目盛りも右回りになったことを説明していました（なるほど！納得）。

影の動きについては続きがあって、南半球では、太陽は東から出て北を通過して西へ沈むので、影の動きは北半球とは逆になります。もし南半球の人が日時計を作っていたら、今の時計の数字の並びは左回りになっていたであろうとのことでした（南半球の暮らしてどんな感覚なのだろう??）。

子どもの素朴な疑問から、いろいろなことに気付かされました。そして北緯45度のまちに3年間暮らして、生活している環境に対応したライフスタイルや、その環境からでないと思えない、ものの考え方・見かたがあることも体感しました。

9月で協力隊の任期終了になります。“住んでよし、訪れてよし、のまちづくり”を課題に活動してきましたが、まだ思うような成果が得られていません。ここで、一度別の環境に身を置いて別の視点でこの課題に取り組んでみようと思っています。これまで、まちのことをいろいろ教えていただいた方々、本当にありがとうございました。今はネット社会なので、どこにいても情報交換はできます。これからもよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊 丸田耕作



昔床屋さんにあった時計